

代表質問発言通告書

発言順位 5 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成28年 2月 23 日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 7 番 堀江 和雄



質問事項及び具体的内容 地方創生の掛け声と共に三島市も選ばれる街として、今まで以上に市民の皆様の満足と協力が必要となる。そして女性が活躍できる街としての政策が求められる。新年度予算編成において、まち・ひと・しごと総合戦略にもつながるこれからの戦略を伺う。

1 選ばれる街三島に向けての営業戦略について

人口のゆるやかな減少にある三島市が選ぶ戦略は人口の拡大を目指すか、それとも人口規模が縮小しても住民サービスが維持できる縮小都市を選ぶのか。

- (1) 三島市のシティプロモーションと選ばれる街への営業戦略をどのように考えるか。
- (2) 定住人口と交流人口の分析が必要と考える。その上で移住促進ターゲットをどのように考えるか。

2 子育てがしやすい街三島について

- (1) 女性が活躍できる環境と、子供を生み育てる環境の為の予算は。
- (2) 認定こども園への各園の取り組み状況と、今年度の政策である、民間の保育の受け入れ人数増への取り組みについて。

3 ふるさと住民票制度について

ふるさと納税制度を利用して、謝礼品と共に、ふるさと住民票を発行する事について。

- (1) ふるさと納税制度に参画して頂いた人数と、送付した三島ブランド謝礼品の総数は。
- (2) 三島市を外から見て、まちづくりに参画してもらう、ふるさと住民票の発行は更なるセールスとなると考えるがどうか。

4 すべての人が活躍する街を目指すために

一億総活躍社会という、だれも置き去りにしない、全ての人が活躍する街を目指すために。

- (1) 生活支援センターの現状と課題、就労支援等の更なる充実への取り組みは。
- (2) ひとり親家庭等への支援は相談窓口のワンストップ化が必要と考えるが。
- (3) 中学校入学時の親の費用負担を軽減するための中学校の制服寄付制度。部活ユニフォーム買い上げ貸与制度などがあるが、検討してはどうか。

5 災害弱者を支援する個別計画の推進について

地震防災対策のひとつ、災害弱者を地域全体で支援する個別計画の作成推進について。

- (1) 自主防災会・町内会・自治会等にどのように個別計画策定を進めていくのか。

6 子供たちの教育環境充実に向けて

教育環境の充実は、新たに子育ても担う若い世代の関心事であり、より質の高い教育環境は市内の児童・生徒に新たな好奇心、学びの意欲を掻き立てると考える。

- (1) 電子黒板などICTを活用した、授業の取り組みと今後の目指す教育の方向について。
- (2) 中学校通級指導教室の新設し、確かな学力の育成と豊かな教育の推進とあるが、具体的な受け入れ体制はどのようになるのか。

7 地域包括ケアシステムにおける地域支援事業の取り組み

地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業の市町村における円滑な実施が求められる。

- (1) 三島市における新しい総合事業の移行戦略はどのようになっているか、財源と人材が不足することにより、要支援1・2の方の生活支援は専門職の方でなくても支援できる体制づくりが必要であると考え、見解を伺う。
- (2) 地域コーディネーターの育成をどのように取り組むのか。